

令和4年度 学校経営計画（その2）に基づく最終評価

【Ⅰ－1】 基本的生活習慣の確立

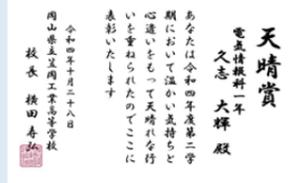
○挨拶は、殆どの生徒ができるようになった。「立ち止まって先言後礼」についても、運動部の生徒を中心に多くの生徒ができるようになってきた。今後は、校内だけでなく、近隣の方に対しても同様に、多くの生徒ができるように指導を続けていきたい。

○遅刻者数については、一昨年度の2倍ではあるが、昨年度、同時期の3倍と比べ減少している。欠席者については、昨年度よりもさらに減少している。コロナ感染症対応の影響も考えられる。今後も継続的な指導が必要である。

○「寝るの教育の推進」については、学校行事の規模縮小・削減などもあり、善行カード「あっぱれ！」カードの発行が出来ていない。(学期毎に表彰)



R01; 2/19 現在 216 枚発行  
 R02; 2/19 現在 821 枚発行  
 R03; 2/19 現在 316 枚発行  
 R04; 2/19 現在 234 枚発行



評価 B

【Ⅰ－2】 部活動の活性化・効率化

○笠工ニュース、Instagram、笠工ブログで、各部の活動・活躍の紹介を実施。11月末に調査をした結果、同一の時期ではないが一昨年度以前に近づく値となった。今後もより一層、各部の活動状況に関する情報発信と入部等の指導を継続する。

○今年度バドミントン部が県総体団体3位になり、中国大会へ出場。また野球部も27年ぶりに秋の県大会に出場し1勝を挙げた。例年、ウエイトリフティング部、レスリング部は複数の選手が全国大会に出場しているが今年度は残念ながら各部1名の出場という結果であった。高校生ものづくりコンテスト全国大会(溶接作業部門)に出場し6位に入った。

○部活動や授業の様子等を掲載した笠岡工業高校情報新聞「KASAKO NEWS」を発行。近隣中学校等にも配付。11月末現在、第3号を発行。広報の媒体を活用や写真から映像へ移行(ブログ、YouTube 49回・Instagram 70回 配信)したため発行部数が低下した。

部活動加入率	9月	11月末
R 1	87.6%	—
R 2	88.3%	—
R 3	—	76.3%
R 4	—	80.4%



評価 A

基本的生活習慣の確立 部活動の活性化・効率化

【人材育成】 社会人としてのマナーや確かな職業観・勤労観を持ち、意欲的で我慢強さや責任感を身に付けた人材を育成する学校

【Ⅱ－1】 基礎学力の向上と学習習慣の定着

○授業規律の確立は、「笠工授業5」を年度初めに全教室と体育館、実習室等に掲示し、徹底を図っている。またシールを作成し、教務手帳に貼付し指導の徹底を図っている。

○夏季休業中に1・2年生対象に基礎学力診断テスト結果の現状分析をオンラインで取り、各課題に対する取組方を示し、今後の取組(頑張り)を促した。また、成果を上げたものには、賞を与える取組を実施。

○生徒の集聚力、読解力、思考力を高める事を目的に、朝学(毎朝5分間)を学年団が中心になり実施。

○「家庭学習」30分未満/日、0分/日の生徒は学年がすすむにつれて増加している。宿題の工夫、考査1週間前までは教務課通信等を作成・配布し、家庭学習の意識づけにつながる取組の実施。

○「基礎学力テストCゾーン以上の生徒数」は、4月の段階では昨年度比で1年生において減少が見られる。上記の家庭学習の時間と関連が強いようである。今後も継続的な指導が必要である。

○ICTを有効に活用した授業見学をOJTチームで実施。特に先進的に取り組んでいる教員の授業を全教職員で見学を行い、スキル向上に努めた。

朝学の取組 (内容)			
1年生	100マス計算、国語の書取り、問題集(国数)		
2年生	問題集(国数)、一般常識問題集		
3年生	SPI問題集、読書		

年度	3年生	2年生	1年生
H30	53.7%	47.7%	27.0%
R01	53.1%	56.6%	18.2%
R02	61.7%	47.1%	14.3%
R03	55.9%	38.5%	15.4%
R04	58.9%	72.9%	44.2%

基礎学力テストCゾーン以上			
年度	3年生	2年生	1年生
H30	23.2%	25.7%	32.2%
R01	28.5%	22.6%	32.2%
R02	28.7%	31.2%	46.9%
R03	31.5%	39.6%	37.5%
R04	43.1%	29.6%	28.1%

評価 B

【Ⅱ－2】 資格取得の推進

○機械製図検定は本年度、16名(10名)が合格した。( )内は昨年度の実績

○計算技術検定1級については、2名が合格。普通科高校で学習する数学の力が必要となるレベルであり、電子機械科と電気情報科で1名ずつ合格となった。

○資格検定については、社会的評価が高い技能検定等の国家資格を今後も継続的に取得させていきたい。

○土木施工管理(合格率)  
 R02 15名 → R03 18名 → R04 21名 (74%) (50%) (57%)

○インフラ調査士補(前期中止)  
 R02 5名 → R03 6名 → R04 6名

○ジュニアマスター  
 R03 R04  
 ゴールド 5名(4.5%) → 3名(3.3%)  
 シルバー 4名(3.6%) → 12名(13.0%)  
 ブロンズ 27名(24.5%) → 33名(35.9%)

○職業教育技術顕彰  
 R03 28名(25.5%) → R04 38名(41.3%)

○工業教育技術顕彰  
 R03 22名(20.0%) → R04 18名(19.6%)

3級技能検定 普通旋盤作業  
 R02 4名 → R03 2名 → R04 0名

機械検査作業  
 R02 8名 → R03 7名 → R04 11名

電気系保全作業  
 R02(中止) → R03 4名 → R04 3名

計算技術検定1級  
 R02 0名 → R03 5名 → R04 2名

計算技術検定2級  
 R02 16名 → R03 35名 → R04 16名

第1種電気工事士  
 R02 1名 → R03 0名 → R04 1名

第2種電気工事士  
 R02 28名 → R03 21名 → R04 11名

危険物乙種  
 R02 28名 → R03 24名 → R04 17名

基礎製図検定  
 R02 48名 → R03 17名 → R0 17名

評価 A

基礎学力の向上・学習習慣の確立 資格取得の推進

【学力向上】 基礎的な学力と教養を身に付けるとともに、豊かな専門的知識や技術・技能を有する人材を育成する学校

【Ⅲ－1】 学校開放や保護者・地域との連携の推進

○ホームページ、ブログ、SNS等の更新では、部活動、授業や生徒の様子、校内の施設・設備等が分かるものを積極的に掲載していく  
 HPをリニューアル(利ザナルパノラ)。  
 保護者への情報発信のため、39メールを導入。  
 笠工の魅力やYouTube・Instagramで配信し「楽しさ」、「面白さ」、「技術の高さ」などを紹介した。

○オープンスクールを2回実施、夏季103名(福山6名)、秋季75名(福山9名)の中学生が参加、福山市から多くの参加があった。学校見学についても3人の来校があった。

○今年度の出前授業は、例年の時期(5月～7月)に実施することができた。金浦、高屋、笠岡東中の3校で実施。3科の実習内容を体験してもらう講座を開き、参加した中学生からは好評を得た。また、初めて小学1年生対象で出前授業を実施。

笠工ブログ更新回数	4月～11月
R01	164回
R02	254回
R03	144回
R04	135回

ライン更新回数	4月～11月
R01	33回
R02	45回
R03	44回
R04	38回

オープンスクール参加中学生数	
夏季	秋季
R02	103人
R03	134人
R04	103人

出前講座の内容  
 電子機械科 溶接・3Dプリンター  
 電気情報科 電子工作  
 環境土木科 測量・ドローン・ガビッチの橋



近隣小学校へ出前授業 道路パトロール



近隣中学校へ出前授業

評価 A

【Ⅲ－2】 進路指導・キャリア教育の推進

○就職内定先企業(採用担当者)による面談を実施。内定後の生徒の緩みが減少するとともに、個々の生徒に課題・指針(学生生活)を示して頂いた。

○令和2年度よりキャリアパスポートを作成。担任を中心に教員研修会を実施し、作成・活用について共通意識の醸成を図った。また、キャリアパスポートのファイルを生徒が活用しやすいものに刷新した。また、各学年で考査や学校行事・進路関係行事など折々での活用を図り、キャリア意識を醸成した。

○笠岡市と連携しての進路ガイダンスを1年生対象に1月実施。2年生全員のインターンシップを12月に実施。

○就職希望者の民間企業一次内定率は98.4%で、10月中旬には100%を達成。内容についても大手企業、有力企業等の内定が増加した。また、昨年に続き全員(縁故を除く)が工業系企業へ就職した。公務員も希望者6名が延べで複数の合格を果たした。(国土交通省1・県庁2・市町村役場3・府県警2～3)

R02	33名(71名)、33社(65社)
R03	68名(88名)、60社(80社)
R04	47名(61名)、43社(57社)

6月8日に進路に関する保護者説明会を実施(対象は3年生)。進学希望者とその保護者を対象に、進学座談会を実施(本校卒業の活躍している現役大学生を招いて実施。全学年それぞれに進路講演会、工場見学、その他OB・先輩の話を聞く、また、1年に進路ガイダンス、などキャリア教育の推進を図った。

インターンシップ受入企業	
148社/送付224社(右籍:97人)	
受入企業82.8%、各社2～5名受け入れ、約4～5倍受入体制確保	
インターンシップへの参加者	
R03 94名	
R04 97名(61社)	

就職一次内定率	
R02	95.8%
R03	94.3%
R04	98.4% (10月中旬100%内定)

国公立大学2名合格	
島根大学、福知山立大学に各1名、電気情報科の生徒が合格。	

評価 A

学校開放や保護者・地域等との連携の推進 進路指導・キャリア教育の推進

【地域との連携】 地域社会のニーズと保護者の期待に応え、地域の教育力と連携を密にして、一層開かれた学校づくりを推進する学校

【Ⅳ－1】 ものづくり教育の推進

○笠工テクノ工房が軌道に乗り、地域の保・幼・小・中・特別支援学校や市役所などと連携し、ものづくりや補修活動を行っている。PBLの先進事例になっている。

○環境土木科では、第16回高校生橋梁模型コンテストで初優勝した。また、測量競技会(平板測量の部)で1位と3位となり中国大会出場権を得た。第15回コンクリート甲子園(全国体)では初めて予選を通過し本選では10チーム中7位の成績を残すことができた。また、中国地区高等学校工業教育研究会土木系部会第39回土木系製図コンテストでは地区記号の部金賞、2年生の部銅賞を受賞した。

○電気情報科の第29回全国ソーラーレゾコカコンテストは豪雨のため中止となり、連覇ができなかったが、ジャパンマイコンカー2023大会中国地区予選会では2,3位となり、全国大会出場し準優勝となった。仁科ボットコンテストでは、技術賞を受賞した。また、全国製図コンクールでは、最優秀特別賞を受賞した。



保育園 クラスメイトレゾコカ



第16回高校生橋梁模型コンテスト



橋梁模型(優勝作品)



ジャパンマイコンカー2023大会中国地区予選会



仁科ボットコンテスト

評価 A

【Ⅳ－2】 学習環境整備の推進

○ICTを活用した授業環境高度化推進事業費として予算が配分されたことにより、無線LANアクセスポイントを3カ所(武道場、Fujiホール、電子計算機実習室)に増設。電波の受信が可能となり、chromebookの使用可能場所が拡大された。

○本校独自の教職員研究助成金の申請により10万円の助成を受け、本校中庭やいこいの広場の老朽化した机やベンチを環境土木科3年生が身に付けた知識・技術を活かして製作。

○地元企業1社から寄付(SDGsの私製版)をして頂き、電子機械科の学習に関する専門書「[発明と技術の百貨図鑑]」「サイエンス・ネクスト-科学者たちの未来予測」「世界を変えた本」等、7万5千円相当の書籍を寄贈して頂いた。



環境土木科3年生が身に付けた知識・技術を活かして製作。



電子機械科の学習に関する専門書



「サイエンス・ネクスト-科学者たちの未来予測」



「世界を変えた本」等、7万5千円相当の書籍を寄贈して頂いた。

評価 B

ものづくり教育の推進 学習環境整備の推進

【魅力的な学校づくりの推進】 学習環境の整備を進めるとともに、全ての教職員が自己の資質向上、専門性の深化に努めつつ、生徒にとってより魅力的な学校づくりを推進する学校

【本校の目指す姿】 生徒一人ひとりが大切にされ、笠工生としての誇りと自信を身に付けることのできる学校

【本校の使命・存在意義】 専門的知識と技術・技能を習得させる工業高校として、地域や他校等と連携するとともに、社会に必要とされる技術力や、確かな勤労観、職業観を育む教育活動を通して、それぞれの専門分野で主体的に活躍し、社会の発展に貢献する人材の育成を以て本校の使命・存在意義とする。

キーワード : 徹底